

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

PN411839-001 MO0304-A Printed in Japan

再生紙を使用しています。

TE-90「まるごと使える 旅行英会話ミニフレーズ」

TE-91「まるごと使える 仕事英会話ミニフレーズ」

ユーザーズガイド

本マニュアルでは、TE-90「まるごと使える 旅行英会話ミニフレーズ」、およびTE-91「まるごと使える 仕事英会話ミニフレーズ」の2種類のソフトウェアの操作方法を説明します。

- 本マニュアル中では、特に両者の区別が必要な場合を除いて、両者を総称して「本ソフトウェア」または「本ソフト」と呼びます。
- 本マニュアル中で、両者の区別が必要な場合には、それぞれ次の略称で呼びます。
TE-90「まるごと使える 旅行英会話ミニフレーズ」 → 「旅行英会話ミニフレーズ」
TE-91「まるごと使える 仕事英会話ミニフレーズ」 → 「仕事英会話ミニフレーズ」
- 本マニュアル中「学習」の説明で用いている画面は、一部を除きすべて「仕事英会話ミニフレーズ」の画面となっています。特に断りのない限り、操作方法は「旅行英会話ミニフレーズ」の場合でもまったく同様です。
また、「フレーズ検索」の説明で用いている画面は、すべて「旅行英会話ミニフレーズ」の画面となっています。特に断りのない限り、操作方法は「仕事英会話ミニフレーズ」の場合でもまったく同様です。

ご注意

- (1) 本ソフトウェアに関する権利はカシオ計算機株式会社に帰属します。
「旅行英会話ミニフレーズ」におけるデータの著作権は「高橋朋子」「藤田 保」「株式会社アルク」に、「仕事英会話ミニフレーズ」におけるデータの著作権は「細井京子」「松岡 昇」「株式会社アルク」に帰属します
- (2) 本マニュアルの内容について万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (3) 運用した結果の影響については、(2)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (4) 本マニュアルは、本機(CASSIOPEIA l'agenda)の基本的な操作(ボタン操作や画面上の操作など)をマスターされていることを前提に制作しております。
本機の基本操作については、付属の取扱説明書を参照してください。
- (5) 本マニュアルに含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Microsoft®、Windows®、Windows NT®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© 1999-2003 by Tomoko Takahashi, Tamotsu Fujita, ALC Press Inc.

© 1999-2003 by Kyoko Hosoi, Noboru Matsuoka, ALC Press Inc.

© Copyright 2003 CASIO COMPUTER CO.,LTD. All rights reserved.

目次

■ はじめに	4
本ソフトの主な機能	4
「学習」の主な機能	4
「フレーズ検索」の主な機能	4
「旅行英会話ミニフレーズ」の構成	5
「仕事英会話ミニフレーズ」の構成	6
■ 「学習」の利用	7
「学習」の開始と終了	7
「学習」を開始するには	7
「学習」を終了するには	9
目次画面を使う	9
目次画面を表示するには	9
履歴について	10
履歴をクリアするには	10
サブ目次画面を使う	11
サブ目次画面からセッション画面に移動するには	11
サブ目次画面から目次画面に戻るには	11
前後の章のサブ目次に移動するには	11
セッション画面を使う	12
セッション間で移動するには	12
セッション画面から目次画面に戻るには	12
セッション画面からサブ目次画面に戻るには	13
英文・和訳の表示を切り替えるには	13
フォントサイズを切り替えるには	14
図表の表示について	14
解説画面を使う	15
フローチャート画面を使う(仕事英会話ミニフレーズのみ)	15
フローチャートを表示するには	15
フローチャート画面でできること(画面間での移動操作)	16
音声の再生機能	16
音声の再生について	16
音量調節について	18
センテンスカーソルを移動するには	18
各種の再生操作	19
再生スピードを調節するには	19
ラインマーカーを使う	20
ラインマーカーを引くには	20
ラインマーカーを消すには	20

単語帳を使う	21
単語帳に単語を登録するには	21
単語帳を見るには	22
登録した単語を修正するには	22
登録した単語を削除するには	23
セッション画面での本体カーソルボタンを使った操作について	24
音声の停止中／ポーズ中の各種操作	24
音声の再生中の各種操作	25
[ESC]ボタンの操作例	25
■「フレーズ検索」の利用	26
「フレーズ検索」の開始と終了	26
「フレーズ検索」を開始するには	26
「フレーズ検索」を終了するには	26
フレーズを検索・表示・再生する	27
シーンを絞り込んでフレーズを表示・再生するには	27
前後のフレーズ画面に移動するには	28
フレーズにマークを付ける	29
フレーズ検索画面でマークを付けるには	29
フレーズ画面でマークを付けるには	29
マークを付けたフレーズを呼び出すには	29
マークを削除するには	30

■はじめに

TE-90「まるごと使える 旅行英会話ミニフレーズ」、およびTE-91「まるごと使える 仕事英会話ミニフレーズ」は、それぞれ株式会社アルク刊行の同タイトルの書籍に基づいて制作されたソフトウェアです。

本ソフトの主な機能

本ソフトには、「学習」と「フレーズ検索」の2つの入り口があります。

「学習」では、本ソフトの元となった書籍と同様に読み進めることができ、画面に表示中の文章に合わせて、ネイティブスピーカーによる音声データを再生することが可能です。

また「フレーズ検索」を使うと、検索画面から目的のシーンを選んで、使えるフレーズをすばやく調べることができます。

「学習」の主な機能

- 各種の音声再生機能(16ページ)
会話形式の、音声データを含む英文(KEY EXPRESSIONS, SKITSなど)は、センテンス単位またはセッション単位で再生することができます。現在再生中のセンテンスには「センテンスカーソル」が表示されるので、どのセンテンスを再生中かが一目でわかります。また、同じ箇所を繰り返し再生したり、再生するスピードを3段階で調節することもできます。
- ラインマーカー(20ページ)
参考書などにマーカーで線を引くのと同じ感覚で、テキストにラインマーカー(5色)を引いたり、文字を塗りつぶして隠すこともできます。また、一度引いたラインマーカーや塗りつぶしを解除することもできます。
- 単語帳(21ページ)
英単語とその訳をセットで登録することができる機能です。登録した単語は、訳とともに一覧または詳細表示することができます。

「フレーズ検索」の主な機能

- 実用的なフレーズをシーン別で絞り込んで表示・再生(27ページ)
さまざまな状況設定(シーン)に応じた実用的な英語フレーズを、すばやく呼び出すことができます。呼び出したフレーズは、もちろん再生することができます。
- フレーズのマーク機能(29ページ)
覚えておきたいフレーズにマーク(しおり)を付けておき、あとで簡単に呼び出すことができます。

「旅行英会話ミニフレーズ」の構成

旅行英会話ミニフレーズ(「学習」)には、機内/空港/ホテル/交通/食事/買い物/娯楽/生活体験/SOSの9つのシーン、全9章が含まれています。

それぞれの章は、KEY EXPRESSIONS(重要表現)、SKITS(寸劇)、積極アプローチ、Tips for Trips(コラム)という4つの節で構成され、節ごとにいくつかの「セッション※」を含んでいます。

各節のセッションの内容と、含まれているデータ(音声/英文テキスト/和文テキスト)は、下表の通りです。

節/セッション	内容	音声	英文	和文
KEY EXPRESSIONS/(「全体の流れ」1セッション)	“KEY EXPRESSIONS”の中で扱うシーンごとのストーリー全体の流れを、日本語で説明するセッションです。			○
KEY EXPRESSIONS/(「基本編」1セッション)	“KEY EXPRESSIONS”の中で扱うもっとも基本的な英語表現を、文字情報で通り説明するセッションです。		○	○
KEY EXPRESSIONS/(シーン別重要表現・数セッション)	例えば「ホテル」の章の場合では、「部屋の予約」「フロントで」「ホテルの部屋で」「ホテルサービス」「チェックアウト」といったシーンごとに1セッションを設けて、重要表現を解説しています。	○	○	○
SKITS/(シーン別寸劇・数セッション)	会話形式の寸劇によるセッションです。章で扱っているテーマに沿った複数のシーンが用意されています。	○	○	○
積極アプローチ/(シーン別寸劇・数セッション)	SKITS同様、会話形式によるセッションです。章で扱っているテーマの中で、自分からより積極的にアプローチしていくようなシーン想定となっています。	○	○	○
Tips for Trips/(コラム・1または2セッション)	章で扱っているテーマに沿った、日本語のコラムです。			○

※ 「9章 SOS」は、緊急時の表現とSKITSのみで構成されています。

※ 本ソフトの「セッション」とは、「学習」の内容を表示する1ページ分のデータ(スクロール表示することができる範囲全体)を指します。

また、上記の9章の他に、「旅に連れていく英単語500」「旅のデータファイル」など、旅行に役立つ情報が付録として含まれています。

「仕事英会話ミニフレーズ」の構成

仕事英会話ミニフレーズ(「学習」)には、電話でアポイント/自己紹介・あいさつ/案内・説明/プレゼンテーション/交渉/会議/職場のコミュニケーション/問い合わせ・クレーム処理/ビジネスランチ/パーティー/接待/別れの12シーン、全12章が含まれています。

それぞれの章は、序文、ストラテジー&サクセスポイント、KEY EXPRESSIONS(重要表現)、SKITS(寸劇)、ビジネス・サクセス・コラムという5つの節で構成され、節ごとにいくつかの「セッション※」を含んでいます。各節のセッションの内容と、含まれているデータ(音声/英文テキスト/和文テキスト)は、下表の通りです。

節/セッション	内容	音声	英文	和文
序文/(1セッション)	日本語による、章ごとの序文です。			○
ストラテジー&サクセスポイント(フローチャート、「12章別れ」は除く)	章ごとのテーマに沿ったあるシーン(例えば「電話をかける」など)が、フローチャート形式で表示されます。状況を選択してフローチャート画面を進みながら、状況に応じた適切な英語表現を確認することができます。		○	○
KEY EXPRESSIONS/(シーン別重要表現・数セッション)	例えば「会議」の章の場合では、「会議を開始する」「問題を挙げる」「質問および確認をする」「賛成する」「反対する」「軌道修正する」「会議を運営する」といったシーンごとに1セッションを設けて、重要表現を解説しています。	○	○	○
SKITS/(シーン別寸劇・数セッション)	会話形式の寸劇によるセッションです。章で扱っているテーマに沿った複数のシーンが用意されています。	○	○	○
ビジネス・サクセス・コラム/(1セッション)	章で扱っているテーマに沿った、日本語のコラムです。			○

※ 本ソフトの「セッション」とは、「学習」の内容を表示する1ページ分のデータ(スクロール表示することができる範囲全体)を指します。

また上記の12章に加えて、「仕事に役立つトピックス」と題して以下のコンテンツが付録として含まれています。

タイトル	内容	音声	英文	和文
SOS! こんなときどうする?	Q&A形式の、商慣習におけるSOSトピックス集です。			○
ビジネスマナーのDOS&DON'TS	欧米のビジネスマナー習慣上、すべきこと、してはいけないことを、日本語で解説します。			○
ボディランゲージに挑戦!	Q&A形式のボディランゲージ集です。			○
数字と単位に強くなる	数字やさまざまな単位に関するトピックや、度量衡換算表などが含まれています。		○	○
スモールトークのストック集	スポーツや天気、映画・読書などといった、テーマ別に用意されたスモールトーク集です。音声を再生することもできます。	○	○	○
ビジネスキーワード	ビジネスシーン別キーワード集です。		○	○


■「学習」の利用

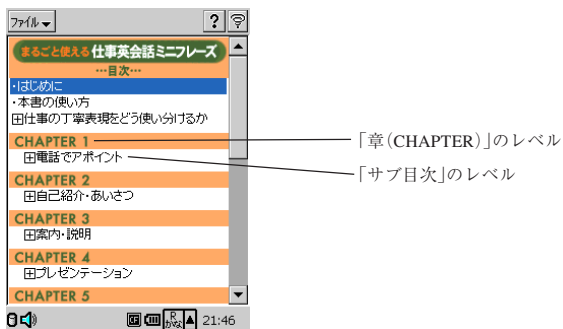
本節では、本ソフトの「学習」の読み進め方や、音声の再生方法などについて説明します。



「学習」の開始と終了

「学習」を開始するには

ここでは、「学習」をはじめて開始する際の、もっとも基本的な操作の流れを説明します。

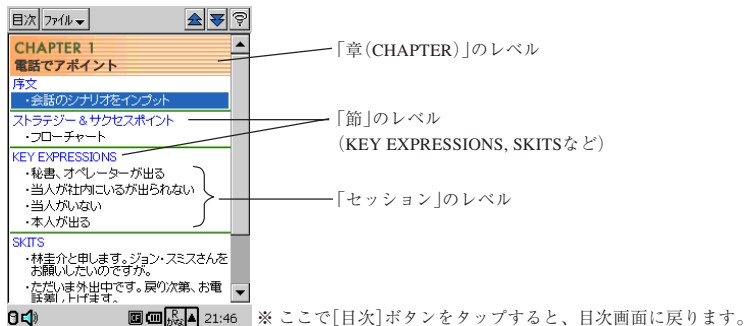
1. l'agendaの電源を切り、カードスロットにCFカードを挿入します。
 - 自動的に電源が入ります。
2. トップメニューボタン()を押します。
 - 専用メニュー画面が表示されます。
3. 音声を聞きたい場合は、l'agendaにヘッドホンを接続しておきます。
4. 「学習」をタップします。
 - はじめて「学習」を開いた際には、以下のような目次画面が表示されます。



- 目次画面について詳しくは「目次画面を使う」(9ページ)をご覧ください。
5. l'agendaの上下カーソルボタンを押して、読みたい項目の行にカーソルを移動します。
 - ここでは、例として「CHAPTER 1」の下の  の付いた項目にカーソルを移動します。( の付いた項目は、より詳細な「サブ目次」があることを表しています。)

6. [OK] ボタンを押します。

- 以下のような「サブ目次」画面が表示されます。



- サブ目次画面について詳しくは「サブ目次画面を使う」(11ページ)をご覧ください。

7. l'agendaの上下カーソルボタンを押して、読みたいセッションにカーソルを移動し、[OK] ボタンを押します。

- 該当するセッション画面が表示されます。




- セッション画面では、英文と和訳の表示方法の切り替えや、音声の再生、ラインマーカー機能の利用など、さまざまな操作を行うことが可能です。詳しくは本マニュアルの12～25ページを参照してください。


メモ

- 目次画面の「章」のレベル、およびサブ目次画面の「章」「節」のレベルには、カーソルは移動しません。
- 目次画面／サブ目次画面では、ある行にカーソルを移動して[OK]を押す代わりに、その行を選択状態としタップすることで、画面を移動することもできます。
- 2度目以降の「学習」の開始時は、前回「学習」を終了した際に最後に表示していたセッション(または目次・サブ目次)画面が表示されます。

「学習」を終了するには

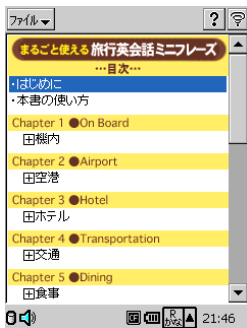
現在表示中の画面(目次画面、サブ目次画面、セッション画面などいずれの画面でも構いません)で、 をタップします。本ソフトの専用メニュー画面に戻ります。

ご注意

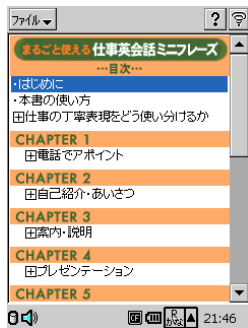
本ソフトの「学習」の表示中(またはフレーズ検索画面の表示中)は、CFカードを絶対に抜かないでください。必ず  をタップして本ソフトの専用メニュー画面に戻り、i'agendaの電源をOFFにしてから、CFカードを抜いてください。

目次画面を使う

目次画面には、「学習」全体の目次が表示されます。



「旅行英会話ミニフレーズ」の目次画面例





「仕事英会話ミニフレーズ」の目次画面例

目次画面を表示するには

本ソフトの「学習」をはじめて表示した際には、必ず目次画面が表示されます(7ページ「学習」を開始するには」参照)。

2回目以降の「学習」の開始時や、さまざまな画面の間で行き来した後など、目次画面以外の画面が表示されている状態から目次画面を表示したい場合は、次の操作を行います。


1. ツールバーに[目次]ボタンがない場合は、をタップして、ツールバーに[目次]ボタンがある画面まで戻ります。
 - 表示中の画面によっては、を2回以上タップすることが必要な場合があります。
2. [目次]ボタンをタップします。
 - 目次画面が表示されます。

メモ

ツールバーに[機能▼]ボタンが表示されている場合は、[機能▼]→[目次へ戻る]をタップすることで、目次画面を表示することもできます。

履歴について

本ソフトは次の履歴情報を記憶します。履歴情報は、目次・サブ目次の表示に反映されません。

- 「学習」の中で開いたことのあるセッションの履歴情報
一度でも開いたことのあるセッションの項目は、目次・サブ目次画面でオレンジ色の文字で表示されます。(目次画面で、が付いた項目は履歴の対象外です)

メモ

サブ目次については、「サブ目次画面を使う」(11ページ)をご覧ください。

履歴をクリアするには

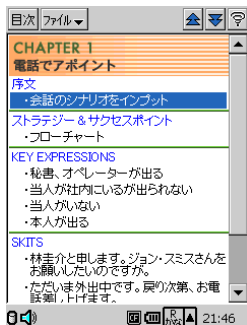
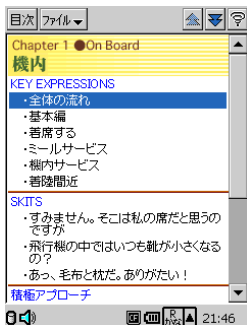
上記の「履歴について」で説明した履歴情報をクリアするには、目次画面(またはサブ目次画面)で[ファイル▼]→[履歴クリア]をタップします。この操作により、次のことが実行されます。

- 目次・サブ目次画面でオレンジ色に表示されている項目の文字が、すべて元の色に戻ります。

サブ目次画面を使う

目次画面で☒の付いた項目を選択状態としタップすると表示されるのが、「サブ目次画面」です。

サブ目次画面には、ひとつの章内の、より詳細な内容一覧が表示されます。



「旅行英会話 ミニフレーズ」のサブ目次画面例 「仕事英会話 ミニフレーズ」のサブ目次画面例

メモ

サブ目次画面の履歴については、10ページの「履歴について」をご覧ください。



サブ目次画面からセッション画面に移動するには

サブ目次画面からセッション画面への移動の操作については、「学習を開始するには」(8ページ)の手順6～手順7を参照してください。

サブ目次画面から目次画面に戻るには

サブ目次画面の[目次]ボタンをタップすると、目次画面に戻ります。

前後の章のサブ目次に移動するには

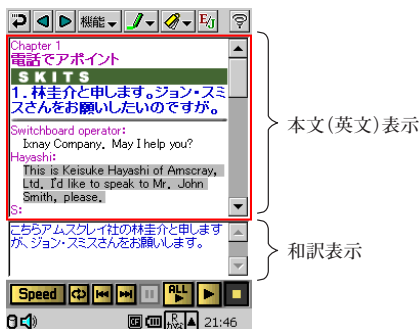
サブ目次画面でをタップするとひとつ前の章、をタップすると次の章のサブ目次画面に移動します。

セッション画面を使う

ここではセッション画面間での移動のしかたや、画面上での英文・和訳の表示の切り替え方、フォントサイズの変更のしかたについて説明します。

セッション間で移動するには

各セッションの画面は、例えば以下のように表示されます。



1ページの画面に表示されるのは、ひとつのセッションの範囲内です。画面をスクロールして最後まで読んだ後で次のセッションに移動したり、ひとつ前のセッションに戻るには、次の操作を行います。

次のセッションに移動するには	[機能▼]→[次のセッションへジャンプ]をタップ (または▶をタップ)
ひとつ前のセッションに移動するには	[機能▼]→[前のセッションへジャンプ]をタップ (または◀をタップ)


メモ

上の画面は「和訳つき表示」を選択している場合の画面例です。この他にも、英文のみを表示したり、英文と和文を併記表示することができます。詳しくは「英文・和訳の表示を切り替えるには」(13ページ)を参照してください。

セッション画面から目次画面に戻るには

- [機能▼]→[目次へ戻る]をタップすると、目次画面に戻ります。
- 目次画面から直接表示したセッション画面では、ツールバーに[目次]ボタンが表示されています。この場合は、[目次]ボタンをタップすることで、目次画面に戻ることができます。

セッション画面からサブ目次画面に戻るには

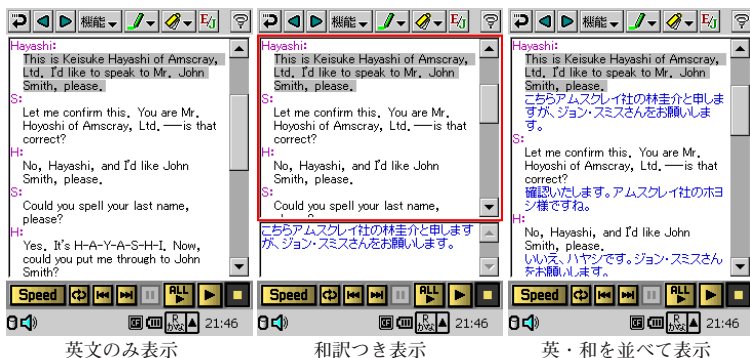
- ・ [機能▼]→[サブ目次へ戻る]をタップすると、サブ目次画面に戻ります。
- ・ サブ目次画面から表示したセッション画面では、をタップすると、サブ目次画面に戻ることができます。

メモ

目次画面から直接表示したセッション画面はどのサブ目次にも属していないため、[機能▼]→[サブ目次へ戻る]メニューは無効です。

英文・和訳の表示を切り替えるには


セッション画面の英文/和文のテキスト表示状態を、「英文のみ表示」、「和訳つき表示」、「英・和を並べて表示」の3種類から選択することができます。



英文のみ表示

和訳つき表示

英・和を並べて表示

- ・ 表示を切り替えるには、[機能▼]→[テキスト表示]をタップして表示されるサブメニューから [英文のみ表示] / [和訳つき表示] / [英・和を並べて表示] のいずれかをタップしてください (タップした項目にチェックマークが付きます)。
- ・ また、 をタップするごとに、英文のみ表示→和訳つき表示→英・和を並べて表示→英文のみ表示...の順に表示を切り替えることができます。

メモ

和訳つき表示の場合は、上側が英文、下側が和訳の2画面に分割表示されます。どちらかの画面をタップした場合、タップを行った画面にフォーカスが移動し操作対象になります(音声の再生停止/一時停止中は、左右カーソルボタンを押し移動することもできます)。

ご注意

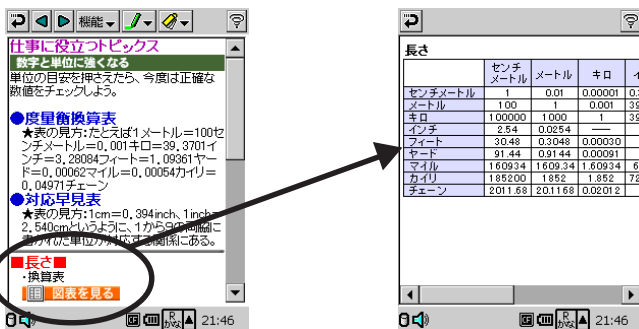
対訳データを持たない画面では、テキストの表示を切り替えることはできません。

フォントサイズを切り替えるには

セッション画面に表示されているテキストのフォントサイズは、4通りから選択することができます。[機能▼]→[フォント]をタップして表示されるサブメニューから[特大]/[大]/[中]/[小]のいずれかをタップしてください(タップした項目にチェックマークが付きます)。

図表の表示について

セッション画面上で、以下のように[図表を見る]ボタンが表示されている場合は、ボタンをタップすることで図表を全画面表示することができます。

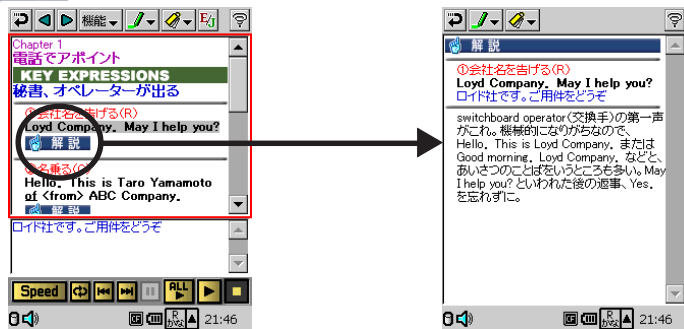


図表表示から元のセッション画面に戻るには、をタップしてください。

解説画面を使う

セッション画面では、重要な言い回しなどに対して「解説」ボタンが随所に配置されています。

「解説」ボタンをタップすると、より詳細な情報を含む「解説画面」が表示されます。



解説画面例

解説画面から元のセッション画面に戻るには、「戻る」ボタンをタップします。

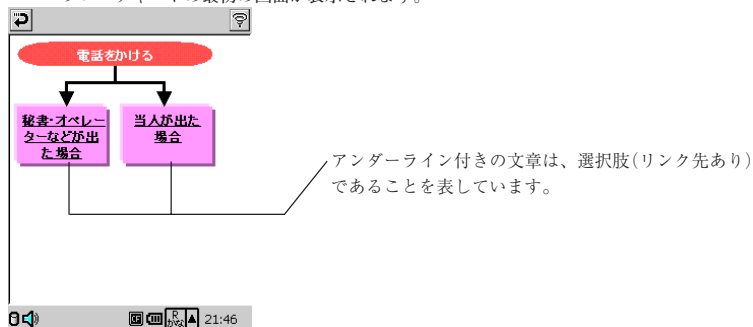
フローチャート画面を使う (仕事英会話ミニフレーズのみ)

「フローチャート」は、仕事英会話ミニフレーズの各章(CHAPTER12は除く)に設けられている「ストラテジー&サクセスポイント」という項目で採用されています。

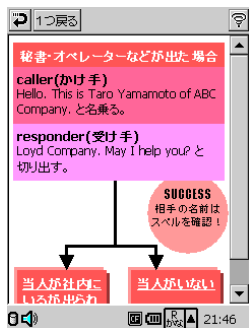
「フローチャート」は「学習」のセッションの一種ですが、通常のセッションとは若干操作が異なります。


フローチャートを表示するには

- CHAPTER 1~CHAPTER 11のいずれかのサブ目次画面を表示します。
- 「ストラテジー&サクセスポイント」の項目にカーソルを合わせ[OK]ボタンを押すか、項目の行を選択状態としタップします。
- セッション画面が表示されますので、その画面の[フローチャート]ボタンをタップしてください。
 - フローチャートの最初の画面が表示されます。




4. アンダーライン付きの文章のいずれかをタップします。
- タップした文章に該当した、次のフローチャート画面が表示されます。




- [1つ戻る]ボタンをタップすると、ひとつ前のフローチャート画面(ここでは手順3の画面)に戻ることができます。
- をタップすると、セッション画面に戻ります。

フローチャート画面でできること(画面間での移動操作)

フローチャート画面では、次の操作で画面間を移動できます。

- 画面上でアンダーラインの付いた文章をタップすると、次のフローチャート画面に移動します。
- セッション画面から数えて2つ目以降のフローチャート画面で[1つ戻る]ボタンをタップすると、ひとつ前に表示されていたフローチャート画面に戻ります。
- どのフローチャート画面からでも、をタップすることでセッション画面に戻ります。

メモ

画面上にアンダーラインの付いた文章がないフローチャート画面は、いわば「終点」です。このような画面が表示された場合は、[1つ戻る]をタップしてひとつ前の画面に戻るか、をタップしてセッション画面に戻ってください。

音声の再生機能

音声の再生について

- 音声の再生が可能なセッションでは、画面下部に「音声コントロールパレット」が表示されます。音声コントロールパレットを使って各種の再生操作を行います。
- 音声の再生が可能なセッションは、フレーズまたは会話形式となっています。音声の再生は、次のいずれかの範囲で行うことができます。

① センテンス再生：

会話形式のセッションでは登場人物一人の、ひとつづきのセリフをはじめから終わりまで再生します。

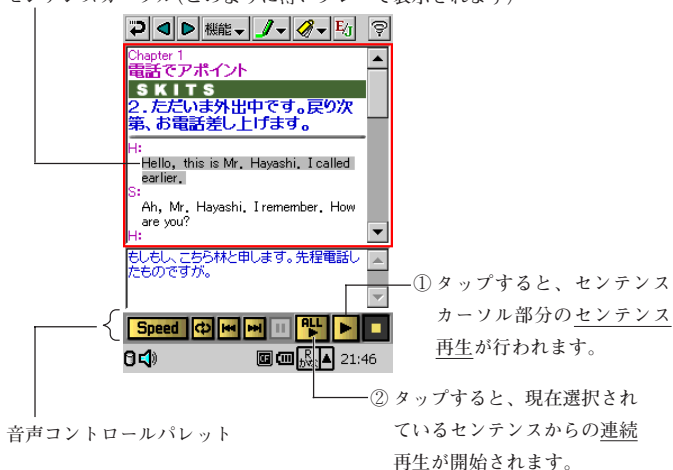
※ セリフに複数の文章があり、かつ長い場合は、文章の切れ目で分割され、複数のセリフとして扱われる場合があります。

② 連続再生：

センテンスカーソルのあるセンテンスのはじめから再生を開始して、そのセッションの終わりまで再生します。




現在選択されているセンテンスには、以下のような「センテンスカーソル」が表示されます。

センテンスカーソル(このように薄いグレーで表示されます)




センテンスカーソルを移動して、再生の開始位置を選ぶことができます。

ご注意


繰り返し再生をオンにしている状態(19ページの「各種の再生操作」を参照)で、  をタップし連続再生やセンテンス再生を開始すると、 をタップするなどの操作によって再生を停止するまで再生が繰り返し行われ、電池を消耗することがあります。

音量調節について





音量は以下の手順で調節します。

1. 画面左下の  アイコンをタップします。
 - 以下のようなボリュームコントロール画面が表示されます。



2. スタイラスでスライダーを上下に移動して、音量を調節します。
 - 「ミュートिंग」にチェックすると、チェックしている間は、無音状態になります。
3. ボリュームコントロール画面を閉じるには、 をタップしてください。

センテンスカーソルを移動するには

- 音声の再生中／一時停止中は、l'agenda本体の上下カーソルボタンを押すことで、前後のセンテンスにセンテンスカーソルを移動することができます。
- 音声コントロールパレットの  をタップするとひとつ前のセンテンスに、 をタップすると次のセンテンスに、センテンスカーソルが移動します。また、 をタップではなく、長く押した場合はそのセッション内の先頭センテンスに、 を長く押した場合は、そのセッション内の最終センテンスにセンテンスカーソルが移動します。
- センテンス上をダブルタップすることで、そのセンテンスにセンテンスカーソルを移動することができます。










メモ

センテンスをダブルタップしたときの再生の動作は、ダブルタップした時点でどのような再生が行われていたかによって異なります。


- センテンス再生中にセンテンスをダブルタップした場合は、そのセンテンスが含まれるセンテンスカーソルのはじめから終わりまでの再生を行って再生が停止します。
- 連続再生中にセンテンスをダブルタップした場合は、ダブルタップしたセンテンスから連続再生が行われます。

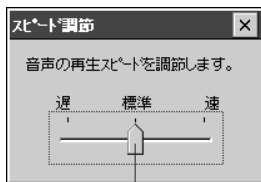
各種の再生操作

再生操作は音声コントロールパレットを使って行います。各ボタンをタップすることで、以下のように動作します。


-  現在センテンスカーソルがある位置からの連続再生を開始します。
-  現在センテンスカーソルがあるセンテンスの再生を開始します。
-  再生中にタップすると、再生を停止します。
-  再生を一時停止(ポーズ)します。
-  ひとつ前のセンテンスにセンテンスカーソルを移動します。(長く押し続けることにより、セッションの先頭センテンスにセンテンスカーソルを移動します)
-  次のセンテンスにセンテンスカーソルを移動します。(長く押し続けることにより、セッションの最終センテンスにセンテンスカーソルを移動します)
-  タップするごとに、繰り返し再生のオン/オフを切り替えます。オフの場合は 、オンの場合はボタンが  のように表示されます。

再生スピードを調節するには

 をタップすると表示されるスピード調節ダイアログで、再生スピードを3段階で調節することができます。再生スピードの調節は、再生中でも行うことができます。



希望のスピードを選択してください。

スピード調節ダイアログを閉じるには、 をタップしてください。


メモ

- 「標準」以外の設定で再生を行った場合、声がかもった感じになるなどやや明瞭でなくなる場合があります。聞きづらい時は「標準」に設定してください。
- [機能▼]→[音声]→[スピード調節]を選択することにより、スピード調節ダイアログを表示することもできます。


ラインマーカーを使う

セッション画面や解説画面では、ラインマーカー(5色+隠す)を使って、テキスト上に線を引いたり塗りつぶす(隠す)ことができます。


ラインマーカーを引くには

1. ラインマーカーを引きたいテキストをドラッグして選択します。
2.  をタップすると表示されるドロップダウンメニューから、希望するマーカーの色(ピンク、グリーン、イエロー、ライトブルー、オレンジまたは隠す)を選びます。
 - 色(または隠す)を選ぶと同時に、手順1で選択したテキストにラインマーカーが引かれた(または塗りつぶした)状態になります。

ラインマーカーを消すには

1. すでにラインマーカーを引いてある部分のうち、ラインマーカーを消したい部分をドラッグして選択します。
2.  → [消す]をタップします。
 - 手順1で選択した範囲のラインマーカーが消えます。

メモ


- セッション画面の場合のみ、 をタップする代わりに、[機能▼]→[ラインマーカー]をタップしても、同じ操作を行うことができます。
- メニューから[隠す]を選択してラインマーカーを引いた場合、対象のテキストは塗りつぶされ見えなくなりますが、そのテキストにセンテンスカーソルを当てる、もしくはドラッグされている間はテキストが見えるようになります。

単語帳を使う


セッション画面や解説画面で選択したテキストを、単語帳に登録することができます。覚えたい単語を記録しておくのに便利です。

単語帳に単語を登録するには

1. セッション画面(または解説画面)で、単語帳に登録したいテキストをドラッグして選択します。

2.  → [単語帳に登録] をタップします。

- 以下のようなダイアログが表示されます。




3. 訳を入力し、[登録] をタップします。

メモ

- 登録できるのは、単語と訳共に127文字までです。
- 画面で使用されている文字の一部(発音記号等)には、ドラッグで選択を行っても登録画面に正しく表示できないものがあります。
- 手順1でのテキスト選択をせず、手順2を行った場合は単語・訳共に未入力状態で登録画面が表示されます。
- 単語帳一覧画面で、[新規] をタップした場合も単語・訳共に未入力状態で登録画面が表示されます。
- 単語欄が未入力の場合は登録できません。
- 単語・訳共に半角カタカナを入力できますが、登録後は全角カタカナとして扱われます。

単語帳を見るには

単語帳には、登録した語を一覧表示する「単語帳一覧画面」と、1語の英単語および訳を表示する「詳細画面」があります。

1.  → 「単語帳一覧」をタップします。

- 単語帳一覧画面が表示されます。



単語	訳	日付
a tall order	難しい注文	03/01/...
corporate P...	企業PR部門	03/01/...
crossed my ...	思い浮かぶ	03/01/...
print produc...	印刷物制作	03/01/...
public relati...	PR案件	03/01/...
speak Englis...	英語がが...	03/01/...

2. 特定の語を表示するには、l'agendaの上下カーソルボタンを押してカーソルを移動し[OK]を押すか、リスト上の語を選択状態としタップします。


- 単語帳の詳細画面が表示されます。



【単語】
Speak English fairly well


【訳】
英語がかなりうまく話せる

最終更新日時: 03/01/16 22:15


3. 単語帳一覧画面に戻るには、 をタップします。

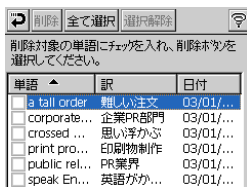
登録した単語を修正するには


1. 上記の「単語帳を見るには」の手順2までの操作を行い、登録内容を修正したい単語の詳細画面を表示します。
2. 「修正」をタップします。
 - 単語の初期登録時と同様のダイアログが表示されます。
3. 「単語」および「訳」の各欄の必要な部分を修正します。

- [登録]をタップします。
 - 詳細画面に表示中の内容が、修正した内容に置き換わります。
- 単語帳一覧画面に戻るには、をタップします。

登録した単語を削除するには

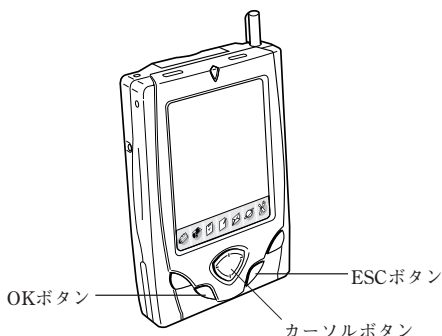
-  → [単語帳一覧]をタップして、単語帳一覧画面を表示します。
- [削除モード]をタップします。
 - 以下のような削除モード画面に切り替わります。



- 削除したい語の左側のチェックボックスにチェックを付けます。
 - [全て選択]をタップすると、登録されているすべての単語にチェックを付けることができます。また、[選択解除]をタップすると、すべてのチェックが解除されます。
- チェックを付けた単語を削除するには、[削除]をタップします。
 - 削除しない場合は、[削除]をタップせずに、手順5に進んでください。
- 削除モードを解除して、通常の単語帳一覧画面に戻るには、をタップします。

セッション画面での本体カーソルボタンを使った操作について


セッション画面でのほとんどの操作は、l'agenda本体のカーソルボタンとOKボタン、ESCボタンを使って行なうこともできます。各ボタンでできる操作は、音声の停止中(ポーズ中含む)の場合と、音声の再生中の場合とで異なります。



メモ

目次画面上での本体ボタンを使った操作については、「[学習]を開始するには」(7ページ)を参照してください。

音声の停止中／ポーズ中の各種操作

- 上下カーソルボタン 停止中は、セッション画面をスクロールすることができます。ポーズ中はセンテンスカーソルを、ひとつ前のセンテンス／次のセンテンスに移動することができます。
- 左右カーソルボタン 和訳つき表示の場合に、英文画面または和訳画面のどちらを操作対象とするかを切り替えることができます。ボタンを押すごとに、英文画面側と和訳画面側の間でフォーカスが移動します。和訳つき表示以外の場合は、このボタンは使いません。
- [OK]ボタン 停止中に押した場合は、 ボタンと同じ働きをします(19ページ)。ポーズ中に押した場合は、ポーズ位置から再生が再開されます。
- [ESC]ボタン 押すごとに、[機能▼]メニューの表示／非表示を切り替えることができます。メニューの表示中は、上下カーソルを使ってメニュー項目を選択し、[OK]ボタンを押して実行することができます。「[ESC]ボタンの操作例」(25ページ)を参照してください。

音声の再生中の各種操作

上下カーソルボタン センテンスカーソルをひとつ前／次のセンテンスに移動して再生を行います。

左右カーソルボタン 現在再生しているセンテンスの先頭からもう一度再生します。
ご注意：左右カーソルの操作タイミング等によりましては、再生を行うセンテンスが前後にずれる場合があります。その場合、上下カーソルボタンを操作しセンテンスカーソルを移動してください。

[OK]ボタン 再生を一時停止(ポーズ)します。

[ESC]ボタン 音声の停止中／ポーズ中の場合と同様です。

[ESC]ボタンの操作例

[ESC]ボタンを使って、セッション画面から目次へ戻る操作を例示します。

1. [ESC]ボタンを押します。
 - [機能▼]メニューが表示されます。
2. 下カーソルボタンを2回押します。
 - [機能▼]メニュー内の2番目にある[目次へ戻る]が反転表示となります。
3. [OK]ボタンを押します。
 - [目次へ戻る]が実行され、目次画面が表示されます。

メモ

[機能▼]メニューの表示中に[ESC]ボタンを押すと、[機能▼]メニューが非表示となります。


■「フレーズ検索」の利用

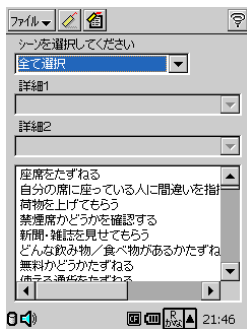
本節では、さまざまな状況設定(シーン)に応じた英語フレーズをすばやく呼び出すことができる「フレーズ検索」の使い方を説明します。

「フレーズ検索」の開始と終了

「フレーズ検索」を開始するには

「フレーズ検索」は、次の手順で開始します。


1. 『agenda』の電源を切り、カードスロットにCFカードを挿入します。
 - 自動的に電源が入ります。
2. トップメニューボタン()を押します。
 - 専用メニュー画面が表示されます。
3. 音声を聞きたい場合は、『agenda』にヘッドホンを接続しておきます。
4. 「フレーズ検索」をタップします。
 - 以下のようなフレーズ検索画面が表示されます。




ここにシチュエーションの一覧が表示されます。いずれかの行を選択状態とシタップすると、そのシチュエーションに対応したフレーズ画面が表示されます。

- このあとの本画面の操作のしかたについては、「フレーズを検索・表示・再生する」(27ページ)をご覧ください。

「フレーズ検索」を終了するには

 をタップします。本ソフトの専用メニュー画面に戻ります。

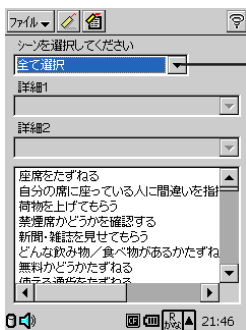
ご注意

フレーズ検索画面の表示中(または「学習」の表示中)は、CFカードを絶対に抜かないください。必ずをタップして本ソフトの専用メニュー画面に戻り、l'agendaの電源をOFFにしてから、CFカードを抜いてください。

フレーズを検索・表示・再生する

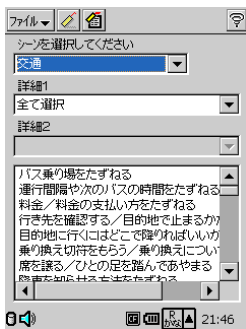
シーンを絞り込んでフレーズを表示・再生するには

1. 「[フレーズ検索]を開始するには」(26ページ)の手順に従って、フレーズ検索画面を表示します。



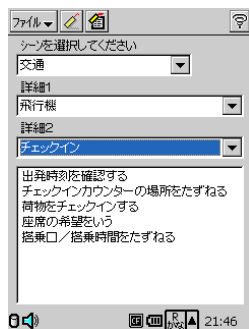
初期状態では、「シーン」欄は「全て選択」になっています。この状態では、下の一覧部分に、本ソフトに含まれているすべてのシチュエーションが表示されます。

2. 「シーン」欄の右側の▼をタップすると表示されるリストから、目的のシーンを選びます。
 - ・ 「シーン」欄でいずれかのシーン(「すべて選択」以外)を選ぶと、「詳細1」欄(「仕事英会話 ミニフレーズ」では「詳細」欄)が選択可能な状態となります。



「シーン」欄からの選択項目に応じて、ここに表示されるシチュエーションが絞り込まれます。

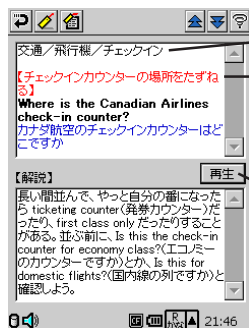
3. 手順2と同じ要領で、「詳細1」「詳細2」の各欄から、順次より詳細なシーンを選択していきます。



「シーン」→「詳細1」→「詳細2」の各欄から選択して絞り込まれたシチュエーションが、一覧表示されます。

ご注意
 選択するシーンや詳細1によっては、詳細2の選択が無い場合があります。また、「仕事英会話ミニフレーズ」では詳細2の項目はありません。

4. 特定のシーンのフレーズ画面を表示するには、一覧表示されているシチュエーションの中から、希望の行を選択状態としタップします。
- 選択状態としタップした行に対応したフレーズ画面が表示されます。
 - 「agenda」の上下カーソルキーを使ってシチュエーションのいずれか1つにカーソルを移動し[OK]を押すことで、フレーズ画面を表示することもできます。



シーン

表示中フレーズのシチュエーション



フレーズ

[再生]をタップする(または[OK]ボタンを押すと、表示中のフレーズ(英語)が再生されます。再生音量の調節のしかたについては、「音量調節について」(18ページ)をご覧ください。

5. フレーズ画面からフレーズ検索画面に戻るには、をタップします。

前後のフレーズ画面に移動するには


フレーズ画面では、現在の「シーンの絞り込み状態」(上記の手順3の画面を参照)の範囲で、表示中のフレーズの前後のフレーズ画面に移動することができます。同じシーン中での別のフレーズを順番に参照したいときに、便利です。

ひとつ前のフレーズ画面に移動するには  を、次のフレーズ画面に移動するには  をタップします。


フレーズにマークを付ける

覚えておきたいフレーズなどにマーク(しおり)を付けておくことができます。マークを付けたフレーズは、専用のシチュエーション一覧(マークリスト画面)から選んで呼び出すことができます。


フレーズ検索画面でマークを付けるには

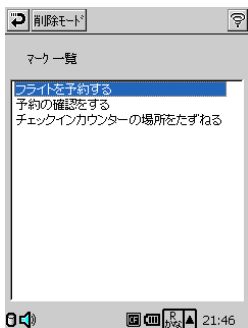
1. 表示されているシチュエーションの一覧から、マークを付けたいシチュエーションをタップして選択します。
 - l'agendaの上下カーソルキーを使って、シチュエーションのいずれか1つにカーソルを移動し、選択することもできます。
2.  をタップします。
 - 「マークしました」というメッセージが表示されます。

フレーズ画面でマークを付けるには

1. 「シーンを絞り込んでフレーズを表示・再生するには」(27～28ページ)の手順1～手順4の操作に従って、マークを付けたいフレーズ画面を表示します。
2.  をタップします。
 - 「マークしました」というメッセージが表示されます。

マークを付けたフレーズを呼び出すには

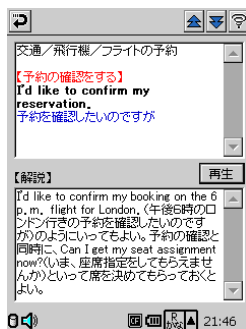
1. フレーズ検索画面、またはフレーズ画面で  をタップします。
 - マークを付けたフレーズのシチュエーションが一覧表示されます(マークリスト画面)。





メモ


マークリスト画面に表示される一覧は、登録順(最新の登録が一番上)で表示されます。

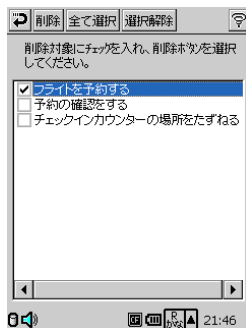
2. マークを付けたフレーズを呼び出すには、一覧表示されているシチュエーションの中から、希望の行を選択状態としタップします。
 - 選択状態としタップした行に対応したフレーズ画面が表示されます。
 - l'agendaの上下カーソルキーを使って、シチュエーションのいずれか1つにカーソルを移動し[OK]を押すことで、フレーズ画面を表示することもできます。





3. マークリスト画面に戻るには、をタップします。
4. マークリスト画面から、その前に表示していた画面(フレーズ検索画面またはフレーズ画面)に戻るには、もう一度をタップします。

マークを削除するには

1. フレーズ検索画面、またはフレーズ画面でをタップします。
 - マークリスト画面が表示されます。
2. [削除モード]ボタンをタップします。
 - 削除モード画面が表示され、現在マーク付けされているシチュエーションが一覧表示されます。



3. マークを削除したいシチュエーションの左側のチェックボックスをタップして、チェックを付けます。
 - 複数のシチュエーションを削除したい場合は、削除したいすべてのシチュエーションの左側のチェックボックスにチェックを付けます。
 - すべてのシチュエーションにチェックを付けたい場合は[全て選択]をタップします。
 - すべてのチェック状態を一括して解除したい場合は[選択解除]をタップします。
4. チェックを付けたシチュエーションのマークを削除するには、[削除]をタップします。
5. マークリスト画面に戻るには、をタップします。
6. マークリスト画面から、その前に表示していた画面(フレーズ検索画面またはフレーズ画面)に戻るには、もう一度をタップします。